

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012門第34号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年1月12日 14時00分ごろ	
発生場所	大分県佐伯市灘内漁港猪串地区 佐伯市所在の屋形島洲ノ鼻消波堤灯台から真方位330° 1.42海里 付近 （概位 北緯32°48.1′ 東経131°53.7′）	
事故等調査の経過	平成24年3月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 第二十一栄進丸、70トン 129409、豊予汽船株式会社 B バージ 第二十一栄進丸、約1,051トン なし、豊予汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長A、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A なし B 船底中央部付近の両舷に破口を伴う凹損	
事故等の経過	A船は、船長Aほか4人が乗り組み、砂利を満載して船首約4.2m、船尾約4.6mの喫水となったB船を灘内漁港猪串地区にある目白鼻西端部の岸壁に着岸させ、A船乗組員がB船のバケットクレーンを使用して揚荷作業中、ブームを横に振り出した際にB船にローリングが生じ、平成24年1月12日14時00分ごろB船の船底が岸壁脇の岩礁に接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2 海象：潮汐 下げ潮の末期	
その他の事項	B船は、平成24年1月17日に造船所に上架した際、船底に損傷が発見された。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A あり、B なし A なし、B なし A なし、B なし A船は、灘内漁港猪串地区において、砂利を満載したB船を着岸させ、A船乗組員がB船のバケットクレーンを用いて揚荷作業中、ブームを横に振り出した際にB船にローリングが生じたことから、B船の船底が岸壁脇の岩礁に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、灘内漁港猪串地区において、砂利を満載したB船を着岸させ、A船乗組員がB船のバケットクレーンを用いて揚荷作業中、ブームを横に振り出した際にB船にローリングが生じたため、B船の船底が岸壁脇の岩礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	